

淀川立見席

69



またも、あのことこのこと

淀川 長治

〈映画評論家〉

羽田でこみいる人たちの中の一人が私のそばになん

なく立っていた。「ルーツ」のジョージ今夜どうなっ

私は一瞬きよんとした。一秒たつてその意味がわかっ

てきた。「ルーツ」のチキン・ジョージは今夜八時から

の放映で、さてどうなるのですか……という質問だった。

私の名も呼ばないで、のっけからの質問だった。「あ

んたもこれから仙台？そんなら今晩見られますよお宅で」

『ああそうだね。まにあうね。』夜の六時に羽田を立つ

と四〇分で仙台に着くのだもん。

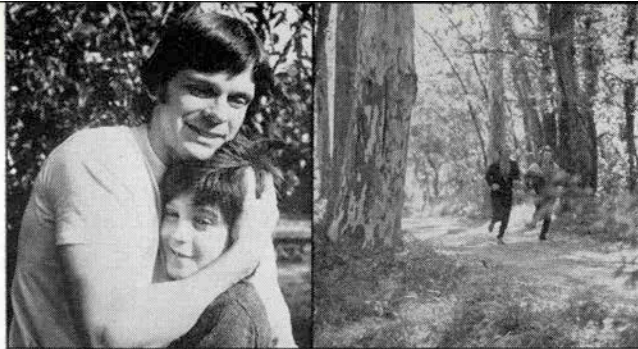
上右 マイウェイ2
上左 ジョーイ
下 新シャーロックホームズ

「ルーツ」は小学
校の五年、六年の
先生が生徒に見る
ようにと宿題にし
たそうだ。テレビ
も映画もときに教
材になることで嬉

しい。
十一才の少年の白血病映画「ジョーイ」ははじめと
描かれてはいなかった。ジョーイが死病とわかってかく
れて泣き崩れた母親が末っ子のそのジョーイのまえでは
ときにきびしく叱ったりもした。もっと注目したいこと
はジョーイ自身が死病を知って家族と共に自分の体力を
頑張るだけ頑張った行為。実話の映画化でこのジョーイ
はこの映画のラスト・シーンから三年たつて死んだのだ
そうだ。

「マイウェイ2」は妻と死別した父親がそのあと後妻を
もらって二人の息子と一人の娘も年ごろを迎えホッとし
たやさき、死んだ妻が息子の一人ポールだけは父が違う
という告白の電報を二〇年近くまえに誰かに打ってい
た、それが見つかってからの父と子の悲劇が始まるのだ
が、父がすぐにポールにそれを話し、ポールは自分の父
をさがしにゆく。そして実父に逢って、再び育ての父の
もとにやっぱ戻ってくる。これもじめじめしない。「人
間の運命というものは自分が作るのだ。下り坂を走って
いては駄目だ。いつも登り坂を駆けあがるんだ」という
台詞がある。あかるく強く生きることが教える。日本で
はこのところ子供の自殺がふえた。もっと力強い勇気を
持たせたい。

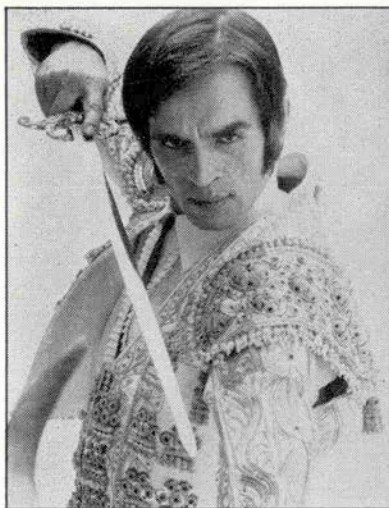
「マイウェイ2」でこの映画の宣伝部が（ハンカチ三枚
持つて見にきてください）と呼びかけるという。ハンカ
チ三枚は三倍泣けると呼びかけた母ものの映画のふる手じ
やないか。（ハンカチを。心の涙をぬぐうハンカチを）



と、この方がいいと教えたら、これはいいと喜んでいた。宣伝部上りの私はすぐこういう歌い文句をとっさに思いつく。六十八才だというのに。

それで昨日、辰之助さんとラジオ対談の録音をNHKスタジオでとったのだが「親父が淀川さんと逢うのなら是非（ペーブル・モコ）のことを聞いてくれ……と云ってまして」という。なるほど松緑さん六十四才の映画青春は「望郷」であつたのかと楽しかった。

私の映画青春はサイレント映画のリリアン・ギッシュ・リチャード・バーセルメス、少しませすぎていた。それで十五才のころはルドルフ・ヴァレンチノ。新開地が懐



期待のヌレエフ演ずるヴァレンチノ



永遠の美男 ルドルフ・ヴァレンチノ

しい。

その「ヴァレンチノ」をこんどケン・ラッセル監督がルドルフ・ヌレエフ主演で完成した。来春三月の日本封切りという。いま一番見たいのがこの「ヴァレンチノ」。

昭和二十七年日本封切の「ヴァレンチノ」はルイス・アレン監督のアンソニー・デクスター主演であつた。これはいかにもヴァレンチノに似たメイキャップだったが中味はメロドラマでつまらなかった。こんどはケン・ラッセルというひとくせもふたくせもある監督だからヴァレンチノがどう描かれているかが楽しみだ。またバレエ界の第一人者ヌレエフがどうヴァレンチノを演じとげるのか。ヴァレンチノはホモだったという説もある。ラッセル監督はそんなヴァレンチノを見せるのではないかとも思うが、なにしろ大正十一年（一九二二）に新開地のキネマ倶楽部だったと思うのだが、あるいは朝日館だったかで見た「黙示録の四騎士」のあのタンゴを、こんどはヌレエフで見られるのが胸どきどき。

こんど「ヤング・フランケンシュタイン」に主演していたジーン・ワイルダーの監督・主演の「新シャーロック・ホームズ」はシャーロック・ホームズの弟の大活躍というでたらめコッケイ活劇だが、ホームズものといえればパラマウント映画のクライブ・ブルック主演ものが忘れられないが、いったいシャーロック・ホームズは何回映画になったのであろう。原作者アーサー・コナン・ドイル（一八五九—一九三〇）はホームズ探偵活劇映画でずいぶんとかせいだにちがいない。

いったい何回映画化されたと思います？ 四十八回……とんでもない……五十回……とんでもない……実は何たることぞ一九〇三年第一回から始まって一九七七年までに私の数えたところ六十五回。ところがほんとは、あ何たることぞ百十五回というびっくり。美男のジョン・バリモアからグロ派のピーター・カッシングにいたるまであらゆる男優がホームズを一度は演じたそう。

女体百景

ほくろの女〈64〉

細川

董たなす

〈文とえ／哲学者〉

「あそこに、ホクロのあるのはええのやで」

と、彼は何かのはずみに、七味平助氏からいわれたことがある。彼はドキッとびくりました。実際、彼のあそこにはホクロはおろかアザまであるのだ。平助は、

「あざがあるのはもつとええで」

と付け加えた。聞き捨てならぬ話だ。

「どないよろしね？」

「いや、位が違ちがうね」

「位くらいいうたら？」

「位くらいいうたら、ホクロが中納言ちゅうなごんやったら、アザは大納言おほなごんいうところなあ」

「くらいが高いというのは名器？」

「いや、名器いうのとはまたちがう。くらいが高いというのは、使えば使うほどよくなる器やいうことや。使わなんだろあかんようになる。その代り使えば、その人の人生の運勢がなんぼでもよくなっていくいう訳や」

「女も？」

「もちろん。女かて、あそこにホクロがあるのは位くらいが高いんや。使うほど隆勢りゅうせいになる」

「僕、ホクロもアザも両方あるわ」

「そら、高位のマヤや。大納言や。大いに使うて使うて使いまくるほど運勢開けるで」

「そやろか？ひとつ頑張るか」

「頑張りはなはれ」

そういえば、宝石商の彼が今までやって来た大きな取引の時には、大抵新しい女とのセックスがあったように思ひ出される。その度に、商売が一ランク大きくなって来たようにも思えた。

その彼は近々台湾へ出かけて大きな商売をたくらんでいる。

「ひよっとしたらまた新しい女に会えるかもしれない」と、彼はワクワクして来た。

こんなことを考えていた矢先、彼は取引先の人につれて朝四時頃までやっているという深夜バーへ行き、そのママさんに紹介されたのである。

窪園千恵子を一廻り小さくしたようなママさんは、彼をみるなり何故かファイトを燃やし始めていることがピンと来た。

「女ってだめね。恋をしたら店も何もほったらかして夢中になっちゃうから……私、今、恋人と別れて来たところ、淋しいわ。あなた離さないから……」

とママは彼の腕に最初からよがってみせた。そして一人有弁に話し続けた。

「女って自分でだめと分っているても、好きな人がお店へ来たら、ハンドバッグとってちょうだいといって、その人と外出してしまうんだもん。」

私、女心が分るだけに、パーテンと仲良くなったホステスには二人ともやめるようにすすめるの。絶対つとまりっこないんだから。

でも私、別れてしまったの。店が大事だもん。でもまた、あなたが来て下さって、あなたに恋しそうだわ。私どうしようかしら？恋してもいい？面倒見て下さる？」

「ああこわ。女はこわいわ」

「ほんとよ。私がほれたら、食いついて離さないわよ」と、彼女は彼ににじり寄り身をすりよせ、彼の二の腕をギョツと力を入れてにぎりしめた。

中肉、中背、色白、均整のとれた女体は男心をそそる典型的な水商売女の美型だ。世話をするのは大変だが、一度や二度の浮気は開運のためにもしてみたいしろものだ。彼は彼女の肩を抱きながら、使えば使うほど事業がうまくいくという七味平助の宣託を思い出した。

「僕、あそこにホクロとアザがあるんだけど、あれがある男は……」

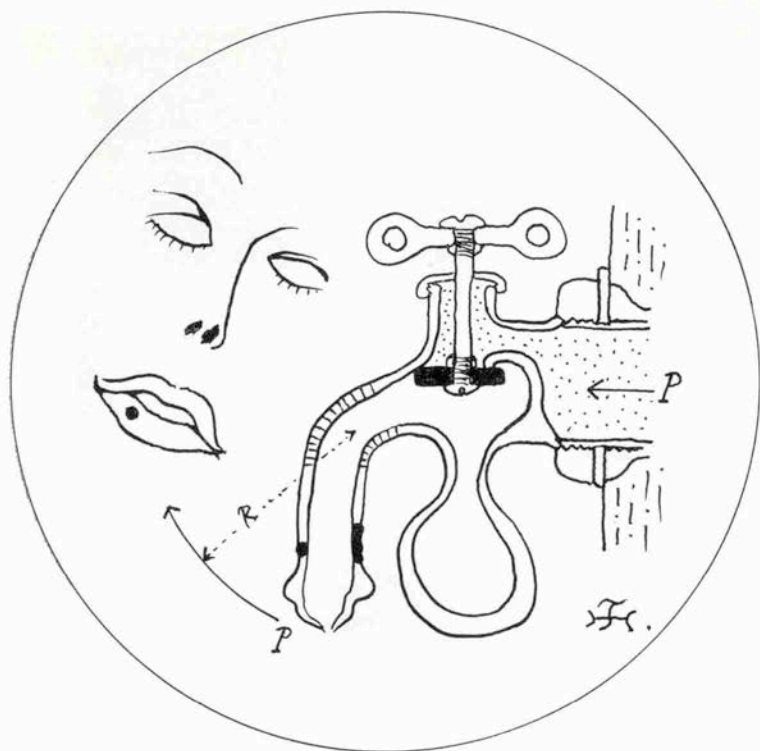
と皆までいわず彼女が答えた。

「私もあるのよ」

「え？ホクロが？」

「そうホクロ。あそこに」

「ほんと？」



「ほんとよ。あそこの左側に……」

「え？どれどれ、どこに？」

「ここよ」

「え？どれどれ」

「いや、くすぐったいわ」

「いやとにかく、それなら、見せあいっこしなくては」

と彼が提案すると、彼女は立ち上りいともあっさり

「そうよ。それじゃ今から一緒にトイレへ行きましょう」

「トイレへ？」

彼は意を決して彼女についてトイレへ入った。

わが家のトイレとは問題にならぬほど広く立派なトイレだった。全面素晴らしい色タイル張りで、何ともいえないかぐわしい香水の香が漂っている。

先に入った彼女は、さっとうつ

むくが早い、黒のロングスカートの

お尻をめくって突き出して見せた。

何とも雪のように白いまりのよう

に愛らしいお尻の谷間にピンクの

クレパスが口を開いているではない

か。そして、

「分った？」

という彼女の声を聞いたまでは覚えて

いるのだが……。その後のことは

全く覚えがない。酒に酔いつぶされ

たのか、それとも？

ただ彼は夜明けのタクシーの中で

連れの男の話し声を覚えているだけ

である。

「彼女はものすごいやり手で、男を

変えるたびに店を増やして、今、チ

ェイン店を何軒ももっているらしい

んです……」

びっと・いん



★手巻き蓄音機のあるコー

ヒーショップ「ウインナ」

1932年設立という喫茶店の老舗ウインナには、珍らしい手でゼンマイを巻いて動かす蓄音機があります。先代の御趣味で大事に扱ってこられたらしく今でもステレオとは違つた落ち着いたいい音。竹を削つて作つた針で鳴らすのが本当だそうですよ。

夜のスナックタイムは自慢の付き出しが出ます。量も質も自信を持って、とのこと。メニユーは毎日違つています。



手巻き蓄音機

蓄音機と同じ時代の鏡つきの素敵な箆笥もあって、昭和の初めのカフェというのがあった頃を懐かしむ老若男女のロマンティストたち大評判。

コーヒータム AM9~PM6
スナックタイム PM6~PM12
元町5丁目 ウィンナビル地下1階
電話341124405
コーヒータム200円 リザーブボトル
キープ5000円

★「ダンファームリン」はフランスのフィリリング



小粋な室内装飾

昼はお茶とお食事、夜はピアノのせてフランス料理と洋酒を楽しんで。9月にオープンしたダンファームリン、チーフコックさんはフランスで修業した人です。メニユーは「日本人に合うものを厳選」とのこと。12時から5時までのランチタイムには毎日変わるメニユーをお楽しみいただけます。

デイトタイム AM11~PM6
スナックタイム PM6~AM1

中山手通2丁目113 シルバービル1階
電話33210012
牛肉の包み煮2500円 若鶏のレモンソテー1500円 オールドブル700円より ウィスキーボトルキープ7000円

★「ゴールデンスター」

30周年を迎えて



ママに小野原社長から花束を

ムーンライトのママが亡くなつて淋しいなあと、思つてるところへ、ゴールデンスターのママ沢崎真子さんが「30年、そしてこれから」と10月29日に記念の宴。嬉しいですね。

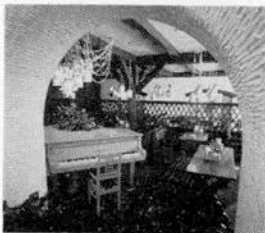
「こんな気のええママはおらんのチャウか。阿呆な女や」と内装を受け持った神戸日建の小野原社長、この日の内装でゴールデンスターの内装を手がけるのは三度目だと語る。元気で可愛く、きつぷのいいママやファミリーな雰囲気、お客がバンドで唄えるという陽気さがゴールデンスターの人気の原因らしい。この店出身の成功者も多いとか。ママ、いつまでもいつまでも、元気で頑張つてね。

●神戸うまいもん とドリンキング

ビッツアハウス

ベルグランドカンパリー
センタープラザ地下1階
電話33110020

12月はパーティや集まりを持ちたい月。気軽なパーティにおすすめしたいのがこのグランドカンパリー。ゴダチーズをたっぷり使ったベルのピッツアで、気の合った仲間や御家族と、楽しい時間を過ごしましょう。40種類もありますから選ぶのに迷つてしまうかな。



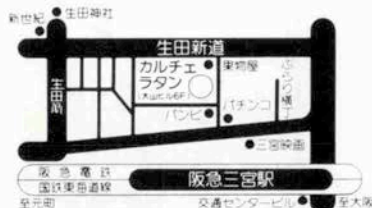
夕方5時半からは鍋島直親さんのピアノ演奏も加わって、ムードは最高カンパリーソングでメリークリスマスの乾杯！

営業時間AM11~PM9
ビッツア各種500円 ラザニ
エ600円 カンパリーソング
300円



☆本誌ご持参の
方にボトルを
無料進呈!

☆おしゃれとブレイにちょっとうるさい若者達の
間で評判。お友達どうして来てる人、カップル
で来てる人、飲んでる人、食べてる人、それぞ
れが自由に楽しんでるって感じのお店です。
ふだんと違ったあなたを演出してみませんか?



パレストラ
カルチェラタン神戸店

三の宮・北長狭通・大山ビル6F TEL.078-332-1976

潜り戸を通して
“花”のおふくろさんの味を



●こん立て●
とろろ飯定食
お好み定食
天ブラ定食
おつくり定食
たかのり弁当
やよいの里
花そうめん
茶そば山かけ

和風季節料理

花

11:30A M~8:00P M 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎331-0087

ニユース漫画〈神戸新聞「笑点」を

必死のパッチで描き続けて七、〇〇〇回（二〇年）

たかはしもう笑品集

内容 「最新カラーマンガ」（9頁）

「笑点20年」（36頁）「似顔絵100人」（54頁）

「ニユースマンガ家の一日」（4頁）

二、五〇〇円
送料二〇〇円

お申込みは「たかはしもう出版会」（月刊神戸っ子編集部内）

送金方法／太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金二一五二七〇四「たかはしもう出版会」または月刊神戸っ子あて現金送金してください。

●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊どうぞ、
欧米の心身障害者を訪ねて

世界の福祉施設

橋本 明著 〈社団法人家庭養護促進協会事務局長〉

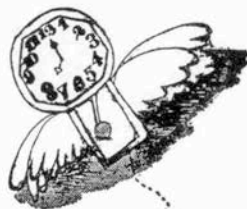
〈カラー八ページ、本文三二〇ページ、定価 一〇〇〇円〉 送料 二〇〇円

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。

神戸市生田区東町一三の一 大神ビル七階 ☎（三三二）二二四六

振替口座 神戸四五一九六

神戸百店会 だより



★「神戸洋服百年史」編集

渡辺洋服店の会長渡辺利雄氏が編集委員長になって2年前から神戸洋服の歴史



渡辺利雄さん

がまとめられています。渡辺さん他神戸の老

舗の洋服店の人だった4人で編集執筆、取材。でも長い間神戸の洋服を育ててきた人たちの執筆だけに、生きた足跡が記されています。

本は史実編、行政編、技術編、団体編の5編に分かれたB5版500ページの立派なもの。10000部限定版。

★ゆったりと広いサロンで仮縫いを

トアロードの紳士服飾西川が広くなりました。二階を仮縫い室兼サロンとして改装、今まで以上に落ち着いて洋服選びができるようになりました。

鏡を大きくとり明るい照

明の新しい仮縫い室はトアロードらしい雰囲気にあふれています。



広くなった仮縫室で西川さん

「紳士服は技術とそしてその人の個性を生かす品選びの目が何よりの信用です。広い仮縫室ができて、お客様にゆっくりしていただけるのがうれしい」と店主の西川幸利さんは語られ、意欲満々のようです。

★ショールがいっぱい！

北野クラブのクリスマス12月22日から4日間続く北野クラブのクリスマスディスプレイ、毎日入れかわり立ちかわりで各国のショーが見られます。22、23

日はスペイン。



ロス・カナテ・ロス

最近神戸で活躍中の宮田

隆はじめとするロス・カナテ・ロスのフラメンコ。24日はヤンキー娘、パッシー・バギバのヴォーカル、25日はファニー・ホルトのコミック自転車曲技とシンガポールのお嬢さんノラ・ティラのヴォーカル。

遠くに港の灯りを臨みながら、ショーを楽しみましょう。「ショーほど素敵なショーはない」っていうじやないですか！

★セリザワ ちんがら屋

ベニヤ 銀座にオープン12月1日に開店した銀座5丁目の8階建てのファッションビル「ニューメルサ」に神戸からセリザワ、ちん

から屋、ベニヤ、など5店がオープン。ビル全体のポリシーが「ゆたかさ」とゆとりの生活」とか。それに合うファッション、飲食の一流店ばかり64店。一度訪れてみたいビルですね。

● ショップトビックス

★あなただけのクリスマスケーキはいかが？と洋菓子のベルでは好きなデザインでデコレートできるジョイジョイケーキの予約受付中。ザンクトルテのケーキ台とデコレーション用のアタセサリーが1セットで1500円。12月20日まで予約の受付をしています。

★風見鶏のある欧風家具屋さん永田良介商店ではTシャツに続いて再び風見鶏スリッパを売り出した。ベージュの地に風見鶏がアップリケ。底の色はモスグリーン、ローズピンク、ダークブラウンの3種類です。1足1300円★メリクリスマスをニューロートホテルでどうぞ。12月22日から25日までの4日間回転レストランではクリスマスディナーショーを計画しています。元ツカガールの明石淳さんのヴォーカルもクリスマスらしいムード。窓の外の港の灯りをながめながら、ムーディなクリスマスをどうぞ。Aコース6000円 Bコース8000円 Cコース12000円 お子様ディナー2500円

★ドイツ菓子ユーハイムからお届けするドイツのクリスマス味のヘクセンハウスはビスケット台にチョコレイトのお家が建っているケーキ。キャンディやチョコレイトで飾ってあります。1ヶ4000円。なるべく予約しておいて下さいとのこと。

★集まれ！ボーカールサンデー。ファッションパークのクリスマスは楽しく夢がいっぱい。11月19日↓12月25日まで各店で3000円ごとに1枚特製トランプがもらえます。5枚集めてボーカールの役を作ります。毎日曜日公開のボーカール大会を開催するといひます。上位の人を(5週合計150名)カプデズでオリエントホテルにご招待です。ボーカール大会は5回、チャンスは5回です！

ポケットジャーナル



★兵庫県文化賞

受賞式行われる

52年度兵庫県文化賞、同科学賞、同社会賞の受賞式が9月29日姫路市市民会館で行われ、表彰状と日展評議員木下繁氏制作のブロンズ像が副賞として坂井知事から贈られた。この賞は、昭和23年に制定され、文化の高揚に貢献し、その功績が顕著な人たちに贈られてきた。

今回の受賞者は次の人たち(敬称略)



伊藤邦輔さん 永田耕衣さん

文化賞 赤尾龍治(郷土史) 伊藤邦輔(演劇等) 伊藤正雄(日本文学)

松堂(書道) 永田耕衣(俳句) ハナヤ

勲兵衛(写真) 肥原康市(筆道)のじ

ぎく文庫(出版) 科学賞 川井良次

(振動騒音の研究と対策) 葉山恭一

(高電圧用複合絶縁材料) 松尾保(極

小未熟児の研究) 井上宗明 藤原佑

造 指紋検出用粉末) 社会賞 松尾

周子(老人福祉) 一宮町の災害を記

★タルホ

宇宙へ還る

A感覚という磁場の上にかきらかなオブジェを蒐集し、セックスの根源にせまるエロティシズム研究の集大成「第一回日本文学大賞受賞「少年愛の美学」をはじめ、男色、少年愛を扱った特異な作品を発表し続けた日本文学の「異端児」稲垣足穂さんが10月24日逝去された。享年76歳。

稲垣さんは大阪の船場に生まれ、関西学院中等部卒業後、一時は画家としての道を志したが、佐藤春夫氏との邂逅によって文学に転向した。



在りし日の稲垣足穂

「一千一秒物語」をはじめ

としてその作風は反リアリズムとして徹底していた。本誌にも度々随想をいただいた足穂さんの冥福をお祈りしたい。

★元町通りの

ホットニュース

元町五丁目の道が完成。レンガ敷きの元町らしいショッピングロード。街灯はすずらんを形どっており、愛称「スズラン通り」。長い間工事をしてきた元町通りのお化粧直しもこれで全部完成。



スズラン通り(元町通り)

三丁目の風月堂の新しいビルは11月30日が完成。地下1階に貸しホールで150人の立食パーティまでできる広さだ。12月4、5日には「神戸っ子」主催で毛皮のファッションショーが催される。

お問い合せ 電話391-2412 風月堂

★ニッケームのついた

北野町の坂道

認定道路名などという味気ない名前はやめて、親しみやすい愛称を道路につけようという粋なはからいが

誕生日
ありがとう
運動



あなたの愛の手で
古切手に新しいいのちを!!

年末で一年間の郵便物などを整理されるでしょう。その時に、古切手を切りとっていただけませんか。本運動では、運動資金とするために古切手(使用済の日本、外国どんな切手でも可)を集めています。古切手の周周約一センチほど残して切りとってください。そして、三宮の国際会館一階の郵便局の隣の一誕生日あたりがとう運動本部まで、お持ちくださるか、郵送してください。ご協力いただいた方には、運動参加カードを送ります。



あなたも、あなたの家庭や会社などにある古切手を捨てないで、古切手にハサミを入れる行為を通して、なにげなく捨てられていた古切手に、新しいいのちを与えてください。そして、みなさんのあたたかい心を集める「一誕生日あたりがとう運動」という連帯の輪に、ご参加ください。

誕生日あたりがとう運動本部

神戸市青丘区御幸通八の一の六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話「五一」八六一一内線三二六

★手づくりの店

「ラベンダー」

サンブラザ2Fの北側通路にある「ラベンダー」がこのたび、開店三周年を迎えた。この店の特徴は全ての商品が手づくりで、それもセミプロ級の素人が制作したものである。それだけ



ラベンダーの粋な構え

に、一品毎に愛情のこもったものばかりである。

商品は30人の人々により、それぞれ個性のある七宝・彫金・レザークラフト

・陶芸品・和紙工芸など主として小物中心に展開している。

同じ商品は2つとない店として評判は高まり、固定客も増えている。

そして、12月10日より25日までクリスマス・セール。

サンブラザ2F 電話331-4550

★オークションで1枚のレコードでもOK

音楽マニアの人なら、欲しいレコードが廃盤になっていたり未輸入だったりで不満だったという経験があるのではないだろうか。元町三丁目にあるレコードショップ「ガス燈」では、そ

ういう不満を解消してくれる。扱っているレコードはクラシックとジャズだけの小さな構えだが、アメリカのオークションで注文してくれるから、どんなレコードでも手に入るというわけ。

オーナーの井上さんはジャズ喫茶が開きたくてレコードを集めかけたのだけ欲しいレコードが手に入らなくて不満だったのでレコード屋になったという人。だから音楽マニアの欲求不満には理解も深く、1枚だけの注文にも応じてくれるから嬉しい。

「ガス燈」元町三丁目64-6 電話3210130

花時計



北野町界隈の話

この頃、日曜、祭日もなれば、北野町界隈がどっと賑わう。勿論、NHKの朝の連続テレビ小説「風見鶏」が始まり、いよいよ、北野町界隈が登場しはじめたためである。そこで、話題(一)

神戸市観光局では異人館「うろこの家」を借り受け観光のポイントとして活用し一般に開放。人気をあつめている。市当局の粋な配慮に市民も拍手話題(二)この附近の縦の坂道には名前がない、その坂道に愛称をつけようという運動が盛り上り「北野坂」とか「ハンター坂」といったモダンな名前がついて地元住民は大喜び。話題(三)押し寄せる観光客へのサービ

スにと北野界隈の地図バめてみた。(Y)

●KOBÉ POST

★二紀会の大御所田村孝之助画伯が勲三等瑞宝賞をうけられ、生田神社会館で12月15日にご夫妻を開む祝賀会が開かれます。

★神戸高校の会誌創立80周年記念特集号「1977・No.18」に「神戸わが街が母校」と題してワイドショーを同窓会(田中教会長)がまとめた編集発行。神戸っ子の体質を考える材料でもあります。電話・0434

★12月24日大阪ロイヤルホテルのクリスマスパーティに高島忠夫さんが金井克子、世良謙、白井克治とニューソニックと出演(¥3000)6:00PM

★御殿側の家元松本尚女さんの大阪文化祭参加の例の会が十月二十一日朝日放送ABCホールで開かれ、後援会の「なごめ会」がホテルプラザ社長鈴木剛氏が会長となつて発表パーティが、二階宴会の間で開かれました。

★松本尚舞さんも翌二十一日大阪南の大和舞能舞台で大阪文化祭参加の第4回リサイタルが開かれ、「古松風」「無間の鐘」を上演。

★パトリックの阿部望さんが転居されました。神戸市北区松が枝町2丁目13番地の6電話(88)0002

★デザイナーの国広節夫さんと望月美佐さんの愛弟子、酒井富美子さんが11月12日須磨寺でめでたくゴールイン。

★11月5日・6日と神戸出身のダンサー・神ひろしさんが、モジカパンパニ公演のミュージカル「男らしき、愛について教えます」に主演。俳優ホールで上演されました。

★朝日TVの西村真一郎さんから3人のスタッフがイスラエルから帰国12月25日(日)午前9:0019:30「世界のどこかで」流浪の民ユダヤ人宗教高校「エルサレムのシオン」の新年の模様を放映。乞ご期待。

ムサシ

ムサシ

やつぱりうまい・むさしのとんかつ

コーベ・三宮・セター街

でんわ・

331-3771
321-0634
321-0635



冬は鍋

本年もお引立ありがとうございました。
忘年会、新年会の予約承っております。



栄 彌

営業時間

11:30AM~9:00PM

本店

大丸前・三宮神社東

(331) 5 7 7 2

TEL (331) 5 6 7 3 - 4

毎週水曜日休み

支店

さんちか味ののれん街

TEL (391) 5 2 3 3

第3水曜日休み

□連載小説／心象風景Ⅳ

アトリエにて

秋吉 好

え・新谷英子



ちじれた黒い短い髪。狭い額。薄い眉。はれぼったい目。眼尻の下に泣黒子。ふっくらとした耳朶。赤い頬。厚い鼻。雀斑。少しめくれた唇。二重になった顎。丸顔で、全体に起伏が乏しく、首はやや長いめで、顎から胸の脹らみまで、やわらかな線が出ている。

永山さんは、頭の後ろで手を組んで、顔を上に向け、胸を張って、身体をねじって右足を踏み出すポーズをとっていた。

キヨミは頭だけ描いて手を休めた。スポットライトをあびた永山さんの大柄な肉体は、フォルムを考えさせる前に、見るものを圧倒する。生きている肉体には獣の匂いが漂っている。キヨミにはそれが生々しすぎて不快だった。

永山さんは四十才を少し出た子供が二人もいるモデルだった。美大でもモデルをしており、卒業生の中で有名になった画家には、今でも永山さんを好んでモデルに使っている者もいた。久保もその内の一人だった。体形は年と共にくずれてきたが、どしりと落着きがあつて、子供を二人持つ中年女の逞しい生命力があふれている。写真のモデルのようになよやかな瑞々しい線はないけれど、女の自然な成熟をあらわしている。それに、モデルに徹した熱心さで、注文どおりに難しいポーズも簡単にこなし、重宝がられていた。

光の中で、腕の生毛が金色にひかる。腋下の毛は豊かで黒々としている。両の乳房は手にあまるほどに豊満でやわらかだった。乳輪が大きく、青紫色をした乳首も子供を生んだばかりの女のように大きい。そしてそれが息をするとき、ゆっくりと、小刻みに、上下にゆれた。皮下脂肪がたまった白い腹も、それに合わせて、かすかに収縮し、脹らんだ。肌は比較的なめらかだった。それでも、背中や脇腹や下腹部に染みや疣が出来ている。深く落込んだ臍の下に、肉がたるんで、筋が二本入っている。その辺りから体毛が濃くなってきた、前に出した右足の付根まで、ちじれた黒い恥毛が覆っている。輪郭のない、

曖昧なその黒い集まりの中に、白い線がすつと入っている。それが次第に深くなり、肉の割目になって、股間の襞まで続いている。背筋をのびた背中から臀部にかけて、山なりの曲線が流れ、たるみがちな太い左足の踝まで続く。それを支えるように踏み出した、やや膝をまげた右足がしっかりとモデル台をつかんでいた。

——休憩しようか、

鉛筆やコンテが紙の上を滑る音だけがしていた無言を破って、久保の声が響いた。緊張した空気がくずれる音がした。アトリエにはデッサン会の会員が毎週集まって思い思いに描いていた。みなストーヴの周囲にあつま。アトリエの窓はくもって外が見えない。山の急斜面に建っているアトリエからは大阪湾の全景が眼下にのぞかれた。

——相変らず厳しい感覚だなあ、

パイプをふかした佐々木がキヨミのそばにきて言った。

——ふしぎだなあ。あなたの絵は対象を殺してしまふ。

あんなに生命力にあふれた永山さんが生きていない。緻密で美しいけれど、冷く、分解してしまふ。やっぱりお医者さんの眼なのかなあ。

——私ももっと生々と描きたいんですが、駄目なんです。

——この方に見られていると、とても恐いんです、と、

毛布で身体をくるんだ永山さんが二人のそばへきた。

——それ、ごらんよ。永山さんが恐いと言うんだから、

と佐々木は笑った。

——もつとも、先日作品、『振り返ったオルフェウス』はよかったなあ。

——私もあの絵は見ました。地獄の業火に焼かれるなんて恐い絵ですわ。なぜ正面を向いているのに『振り返った』と書いてあるのかと考えましたわ。オルフェウスは振り返ったために妻を失ったんだから、絵に描いているのは生の世界でしょう。そして、見ている側はエウリュディケの死の世界にいるなんて。

——構図が逆になっているところが面白いんだなあ。作

者はその意味を何も喋ってくれないけれど。

—— 私にもよくわからないんです。

キヨミは、佐々木や永山さんが言うように構図が逆になっているとしても、なぜそうなったのか、自分でもよくわからなかった。ただキヨミは自分がエウリュディケに取残されたオルフェウスの立場にいるものとばかり思っていた。

—— 寒いから、あっちで話しましょう。

と佐々木は二人をストーヴへ誘った。

—— 上田さんはフランスにいらんだって？

—— そりや初耳だなあ。

—— ふむ、ぼくも初めてや。

—— それで、どれくらい滞在するんだ？

—— いや、そうじゃないらしい。フランス人と結婚したと聞いたんだ。

—— ぼくもそう聞きました。彼女、二年前、離婚してから、フランスやスペインを旅行したことがあったんです。

—— ああぼくも、フラメンコとか、風景とか、向うのスケッチを何冊か見せてもらったわ。

—— その旅行で知り合ったのか、それとも、その後、フランス語の個人レッスンを熱心に受けていたので、その関係かも分りません。

—— フランス人って飽きっぽいから、そのうち別れて帰ってくるわよ。

—— それは女史のやつかみとちがうか。

—— この間、モロッコへ旅行したって絵葉書がきていたから、結構うまくやっているらしいよ。

—— 相手のフランス人は旅行好きらしいですね。

—— 今度パリへ行ったら会えるのが楽しみだなあ。

—— いや、それが、パリじゃないんだ。アルザス・ローヌあたりのライン川に近い地図にも載っていないような田舎町に住んでいるということだ。

—— じゃあ、ランボーの生まれた町の近くかな？

—— ランボーはシャルルヴィルだから、もっと上の方で

すね。ベルギーの国境に近い。

—— ストラスブルじゃないのか？ 藤村の「新生」に、ストラスブルからマロニエの花の便りがくるのがあるね。

—— 新生を期す、か。

—— でも思い切ったものだねえ。

—— フランス野郎に大和撫子を攫われてしもたんかいな。惜しいことをしたな。そんなことなら、彼女が離婚したときに、すぐにもプロポーズしておくんやったわ。

—— 彼女、あんたのこと、亭主に似ているって、嫌っていたわ。永山さん、そうよね？

—— きついこと言うなあ。ぼくには、彼女がぼくのことを憎からず思っていたという、確信があるのに。

—— こっちではもう出品しないのかなあ？

—— 当分、それどころではないでしょう。何と言っても異国で外国人と暮すことだし。

—— 結婚したんだから、国籍はフランスだろう？

—— フランス人というのは尊大だから、東洋から来た黄色人にとつて居心地がよいかどうかかわからないな。ましてそんな田舎町なら、なおさら排他的だろうしね。

—— どうしてそんな所へ行く気になったんだ？

—— よっぽど、そのフランス野郎がよかったんかいなあ。そうでもないみたい。彼女、二年続けて落ちているでしょう。仕事の行き詰まりや、男のことが重なって、日本にいたくないって言っていたわ。

—— 彼女、離婚したとき、好きな人がいると聞いていたけど？

—— 最初の人から逃げまわっていたのよ。大阪の杉本町に半年ほど隠れていたのよ。

—— それで、恋人とはうまく行かなかったのか？ 君じゃないのか、その相手というのは？

—— ちがいますよ。いやだなあ。ぼくなら本当のところよかったけど。

—— そいつは、彼女が離婚したときには、もう結婚して

いたらしいですね。

すれちがいかいな？

男なんて薄情だから。

でも、どうして、その男と共に結婚しなかったんだい？

迷っていたんですわ。女は結婚するとき迷うものですわ。

結局、縫るものなんてないんだ。

フランス野郎ってのは、そんなにうまいかなあ。

おたくはそのことによっぽど興味があまりのようね。

何といってもまだ不勉強ですから。女史の手解きを期待してるんやけどなあ。

おお厭だ。私もあんたは別れた人に似ているから好

きになれないわ。

今の女性には、それにしても、思い切りがいいねえ。

ほんとに相手次第でどこへでも行ってしまう。

パリなんかには、そこへ住むために、結婚する子だっているっていうじやないか。ひところのアメリカ人みたいに屯してねえ。

まあ、それでも、日本人が一人でも多く国外で働くってことも、いいことにはちがいない。地球はこんなに狭くなった。

狭いのかねえ、ほんとうに？

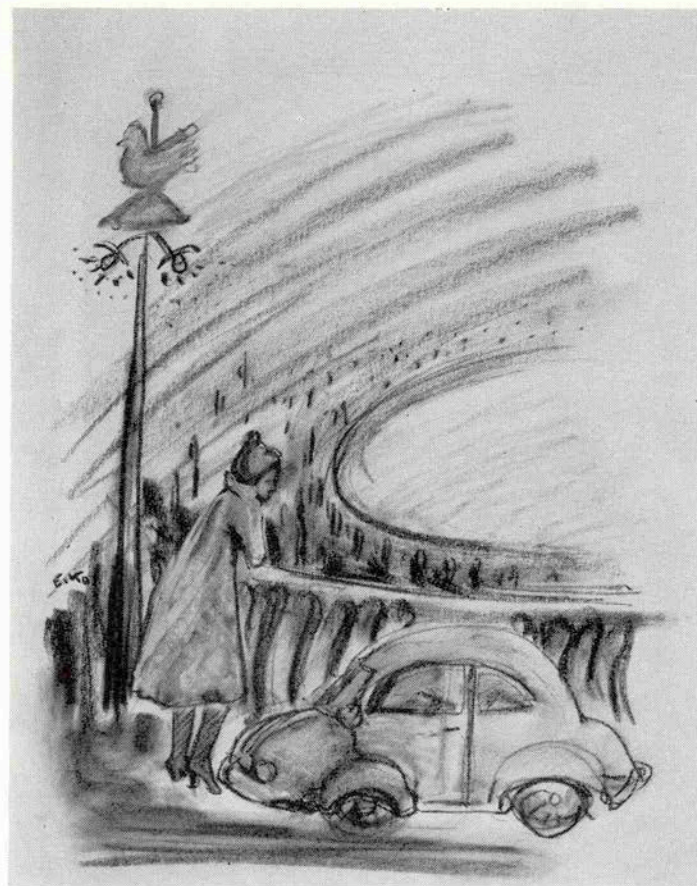
彼女もアフリカへ行っていたんだらう？

キヨミ君か？ おや、いないな。

外へ出たんじやないか。

遮るものも何もない無数の灯が、黒々と重い海をとり

かこんで、闇を食う
発光バクテリアのよう
にうごめいてい
る。



風の強い夜だった。
テラスの前の松
の木が根元から揺れ
ている。冷気が身体
の隅々にまで入りこ
む。キヨミは、しか
し、もっと風が強
く吹けばよいと思
った。アトリエの中
から時々かすかに笑
い声が聞こえてきた。
漁火のような対岸
の泉南の灯。和泉、
堺、大阪と、光の帯
の太さを増し、輝き
を増し、川のように

細長く入り込んでくる海を隔ててちかちかと光っている。大阪港の信号灯台の光が、回転しながら、空に放たれ、その軌跡が暗闇のカンヴァスや雲に映つては消える。高層ビルがガスタンクの赤い灯が闇の中で点滅している。空港に着陸する飛行機が次第に明るさを増して、ゆっくりと下りてくる。空港は山に隠れて見えないが、光の帯はずっと奥まで白く光っている。そしてその中から、高速道路のオレンジ色のアークライトが海に平行してのびてくる。その上をひっきりなしに車のヘッドライトが行きかう。電車の灯の長い連なりが見えつ隠れつして、蛇のように動いている。

港の町はさながら光の海だった。おびたらしい光がひしめき合い、イルミネーションが渦まき、鮮やかな赤や緑のネオンサインがゆれる。港に碇泊している船が暗闇に浮かびあがっている。

キヨミは光の海がすぐ近くまで押し寄せてくるのにじっと耐えた。黒い海を中にして、コロナリングのように輝く光は空の星をも蝕んでしまう。キヨミはその暗空に漂う。

大地はすべてを包み込んで眠っていた。ただ空の星だけが見上げる頭上にふりかかっていた。銀河の長い帯が天上にあった。南十字星が静かに天蓋を落ちて行く。キヨミは泥濘に車輪をめり込ませた車の中で夜を明かした。朝まで他の車を通る見込みはなかった。用意した毛布にくるまって、夜空の星をながめていた。次第に星空が頭をみたくして、見ている自分がどこかに消えてしまった。そこに天と地の世界だけがあった。

天の川が天井にぼかりと開いた穴から見えていた。沈黙が辺りを支配していた。キヨミは虎落笛がかすかに長く鳴る音を聞いた。風が止むと、星屑がばらばらと天井の穴から落ちてきた。キヨミは、頭の芯がじんと鳴って、自分がどうなってしまったものか、よくわからなかった。次第に恢復してきた意識に、梁が斜めに鉄柵のように突き出し、屋根が天井の穴に落込むように二つに折

れて、白い塊りが材木を押しつぶし、小屋の中を埋め尽くしているのが映った。身体は金縛りに合ったように動かなかった。感覚がなかった。首を動かすことも出来ず、首から下は雪の中にあつた。破れた天井から粉雪がキラキラ光りながら舞い下りてくる。それが顔に振りかかって触れる。キヨミは夢をみているようだった。さっきまで山小屋で夫と語らっていた時間はどこへ行ってしまったのか？ キヨミは何かを思い出すことを恐れて、その思い出すことをわざと避けていた。自分が毀れた小屋の中に材木と雪に埋もれている理由を。感覚のなかった身体にじんと痺れが走ってきた。長い虚脱感がさめかかると、キヨミは声にならない涙の出来ない歎歎に身体をふるわした。キヨミは頭のすぐ横に足首を出している夫を見た。身体は雪に埋れてしまっていた。

寒くないですか？ 中にお入りになりませんか？

声に振り返ると、頭まで白い毛布にくるんだ永山さんが立っていた。

—— お寒い、

と大きな声で言って、永山さんは身体をちぎ込ませた。毛布を二枚重ねてきたけど、やっぱり裸じゃ駄目ね。永山さんはいたずら好きの少女のようなあどけなさで笑った。

—— この眺めは、私、大好きなの。街がキラツキラツと宝石のように輝いていて。生きているなあ、と思う。キヨミはまた光の海を前にする。波のゆらめきのように光がゆらめく。暗闇を食って、侵蝕してくる。

と、ぼつと、街の灯の中に、ランプの火か、ロウソクのそれのような小さな弱々しい赤い火がともった。きらめきだけの蒼白い人工の光の中で、その火は暖かく形がなく燃えあがった。そして、勢いを強めた。

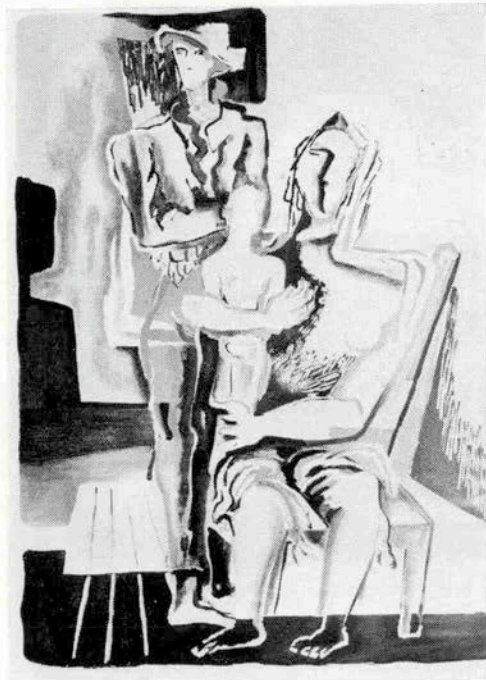
—— 火事、

と、キヨミは呟いた。

(完)

△編集部より▽「心象風景」四部作は今月で完結しました。秋好さんの今後の一層の活躍に期待したいものです。

Merry Christmas



ムーンライト

神戸市生田区北長狭通1丁目24
(三宮・生田新道)

クラブ	☎ 331-0157
バー	☎ 331-0886 391-2696
レストラン	☎ 331-9554
グリル・鉄板焼 月	☎ 331-2509

忘年会・新年会のための特別コース
45,000円(8人~10人)
(お酒10本、ビール5本をサービス致します)



北京料理

神戸飯店

神戸市長田区腕塚町5丁目5-12
神戸デパート7F
☎ 611-4893~4